

合格体験記②

北海道大学 医学部

【大学の種類】国公立

【キャンパス】札幌キャンパス

函館キャンパス（水産学部3・4年）



～大学 info～

【設置学部】文学部・教育学部・法学部・経済学部

理学部・医学部・歯学部・薬学部・工学部

農学部・獣医学部・水産学部

【学生数】18,148人

【豆知識】

最近、広大なキャンパスの中にセイコーマートができたそうです。テラス席もあるんだとか。



僕の通う北海道大学のキャンパスは、ひとつの街と言っているほど広く、構内バスが走っているほどです。大学生協（日用品が全て揃います）や、7つの学生食堂、保健センターなど、施設も沢山あります。また、大学内は自然で溢れていて、野鳥を観察できたり、植物園があったりします。中でも、ポプラ並木やイチョウ並木は有名で、よく観光客が散歩しながら写真を撮っているのを見かけます。いつでも誰でも構内に入れるので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。

知っている人も多いと思いますが、大学では自分で時間割を決めます。数多くの授業が展開されているので、その中から自分の専門に関連する授業や興味のある授業を選択します。とにかく沢山の授業があり、こんな授業もあるのか！と驚くこともしばしばです。「チェス入門」という授業を受けている友人もいます。ここで、僕が受けている授業の中から、一つだけ紹介します。「科学力養成講座」という授業で、様々な事柄を物理学、生物学、化学、地学、天文学の観点から学ぶ授業です。その授業では、生徒全員にリモコンが配られ、授業の合間にスクリーンに表示される問題にリモコンで解答していきます。授業終了後に集計し、優秀な生徒には景品が与えられる、といった授業です。この授業では、全員が寝ることなく真剣に授業を聴いています。（景品の力は絶大ですね。）大学ではこのようなユニークな授業が沢山あり、楽しく学べます。

札幌での一人暮らしが始まってから、1ヶ月が経ちました。そろそろ慣れてきたかな、と感じています。一人暮らしはとにかく自由で、きまमानに生活できます。その反面、身の回りのことは全て自分でする必要があるのも、慣れるまでは大変です。根室にいた時に家事を学んでおくのが賢明だと思います。

今、高校時代を振り返ってみて、僕が受験生のときに実践していたのは、「友人との勉強開始メールの送り合い」です。友人同士で勉強開始時にメールを送り合うというもので、周りが勉強しているの自分にはしていないという感覚を簡単に味わうことができます。この感覚は凄く大切で、自然と「勉強しないと」なと思うことができます。普段自分のクラスにしていると「周りはみんな勉強している」と感じることはなかなかできませんが、全国の受験生はみんな勉強しているのです。普段からそういう意識を持っていたことが、合格につながったのではないかと思います。

受験は、高校3年間で積み上げてきたものを一発勝負で発揮する場です。年に一度しかないそのチャンスで、自分の力を出し切って合格を掴み取るために、何度も何度も問題演習をするのです。受験当日の緊張感の中で全力を発揮するには、並大抵の勉強では絶対に足りません。いくら勉強しても、やり過ぎることはありませんので、がむしゃらに勉強して下さい。

『「わからない!」と叫ぶのは人間だけ。こんな知的な鳴き声は他にない。』これは、僕の好きな言葉の一つで、難問にぶつかった時にいつも思い出していました。「わからない!」と叫んだっていいじゃないか、と。大切なのはその「わからない!」から逃げないことです。皆さんが妥協の無い進路を実現できることを祈っています。Be ambitious!